

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

尾久地区

令和6年4月

東京都荒川区

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	公園の利用頻度	%	34.4	38.0	45.4	確定	●	○	あり			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	大規模公園の新規開園やリニューアルに伴い、公園利用者の増加に繋がった。
指標2	防災訓練等への参加人数	人	2,997	3,500	1,693	確定	●		あり		コロナの影響により、防災訓練実施が縮小傾向であったため、指標の達成に至らなかった。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	令和4年度に引き続き、コロナ禍のため、防災訓練実施の縮小傾向は続いているが、区民の防災意識の高まりにより、令和5年度に防災訓練を実施した際には、参加者数の増加傾向がみられた。
指標3	荒川遊園の年間来場者数	人	417,549	450,000	385,073	確定	●		あり	●	令和5年5月～9月の来場者数がリニューアル前(平成30年度)と比較して減少傾向が続いたため。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	リニューアル前(平成30年度)と比較すると、令和4年度のリニューアル後、令和5年5～9月の入場者数は少なく、目標達成に至らなかったが、遊び場の充実や休憩室等の施設整備により、公園利用が拡大したため、令和5年度の4月、10～3月の入場者数は、リニューアル前と比較すると増加しており、賑わいの創出に繋がっている。
						見込み			なし				

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指 標		従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	災害時に備えた食糧や飲料水の備蓄(自宅備蓄)	%	66.0		75.2	確定	●			R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	災害時に活用できるオープンスペースが整備されたことにより、区民一人一人が防災意識を持つきっかけに繋がった。
その他の数値指標2						確定				R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定				R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	公園の維持管理	・植栽や遊具等をはじめ、公園全体の維持管理を行っている。	・遊具等の点検を欠かさずに行い、安全に利用できる公園管理を徹底し、植栽等の手入れも丁寧に行っていることで、美しい景観を維持できている。	・遊具をはじめ、公園施設の点検や維持管理を徹底し、利用者が安全で快適に過ごせる公園の管理運営を行う。
	整備した施設の利活用促進	・地域住民の交流のきっかけとなるマルシェやスポーツイベント、自然とふれあえる星空や自然観察等のイベントを実施した。	・普段の公園利用者だけでなく、イベントを通して多くの利用者が参加し、公園全体の賑わいが創出された。	・継続的に、公園でイベント等を行い、まち全体の賑わい創出に繋げる。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	災害時の避難場所や災害活動拠点となるインフラ整備の充足	・防災スポット等の防災施設を備えたオープンスペースを整備した。 ・今後は、本整備計画で位置付けた公園に加え、新たに公園の再整備を予定しており、防災施設の整備や施設のレイアウト等の見直しによりオープンスペースを確保した公園を再整備することとしている。	・災害時における避難路や火災の延焼防止に寄与するオープンスペースを確保した。 ・災害時において地域に不足している防災施設の充足が図れる。	・施設整備だけでなく、災害時においての活用方法をはじめ、近隣住民への認知度の向上を図るため、施設の周知方法を合わせて検討していく。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
公園来園者の新たな客層の取り込みやリピート率の向上	・来園者が安全かつ安心して楽しめるように、ハード・ソフトの両面から安全第一の運営体制を維持していく。 ・子供から大人まで、幅広い世代の来園者が楽しく快適に過ごせるように、ホスピタリティあふれるサービスの提供を行う。	R6	・施設の安全点検の徹底をはじめ、区と各事業者間の連携を強化し、事故の未然防止に向けた意識向上を図る。 ・イベントの実施等、年間を通して公園の魅力を引き出す取組みを継続的に実施していく。